

## 普及活動情勢報告（令和8年2月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 特産品の「ポンカン」をPR ～東洋町ポンカン振興対策協議会の販促活動～



とさのさとでPRする  
協議会員

1月24日に高知市の「ひろめ市場」、25日に「とさのさと」で東洋町ポンカン振興対策協議会が販促イベントを開催し、生産者7人、関係機関3人が参加しました。

室戸支所は企画や運営に携わり、消費者と生産者の交流の機会でもある試食や詰め放題イベントを支援しました。

試食した人からは「甘い！」「味が濃くておいしい！」と上々の反応があり、東洋町ポンカンの良さがPRできました。

参加した生産者からは「今年は柑橘全般が豊作だったため、売上は伸びていないが、お客さんの反応は好評でした」との声が聞かれました。

室戸支所は引き続き協議会の活動を支援します。

### 次作にむけて ～JA高知県中芸集出荷場オクラ部会準備会～



土壌水分管理等を説明  
する普及指導員

1月26、28日、安田町、奈半利町、北川村の4カ所でJAオクラ部会が準備会を開催し、部会員27人が参加しました。

農業改良普及課は、しっかり稼ごうプロジェクトや簡易水分計の活用等令和8年度の取り組みについて説明しました。

部会員からは「発芽が悪かったのは土壌水分の不足か」「クロテコンナカイガラムシの防除はどうしたらよいか」「携帯電話でSAWACHIが見えるよう設定してほしい」などの声がありました。

農業改良普及課は、栽培管理技術の向上とともに収量増大による産地の維持・発展に向けて支援していきます。

### 「明日へ男女（ともに）に手をたずさえてのつどい」を開催

～安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会～



地域活動を発表する  
農村女性リーダー

1月29日、芸西村村民会館で安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会が「第17回明日へ男女に手をたずさえてのつどい」を開催し、地区内外の農村女性や関係機関など計71人が参加しました。農業改良普及課は、つどいの開催準備や円滑な運営を支援しました。

自分たちの活動報告、ミニ講演会、研修の他、「地域食材を使ったおやつを試食会」など行い交流を深めました。新たな内容での開催となりましたが、また参加したいとの声がありました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的な活動を支援します。

もっと楽に防除をしませんか！ ～常温煙霧機のご紹介～



常温煙霧機について  
説明する普及指導員

2月4日、J A高知県奈半利支所で中芸地区園芸研究会が勉強会を開催し、生産者や関係機関含め30人が参加しました。

農業改良普及課は、常温煙霧機による省力的な農薬散布の紹介や奈半利町での実証ほの状況を報告しました。

生産者からは「従来の常温煙霧機からの改良点はあるのか」「天敵への影響は大丈夫なのか」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、農作業の省力化や産地の収量向上に向けて支援していきます。

安定生産技術の確立に向けて ～県域高知ナス部会現地検討会及び勉強会～



実証結果を説明する  
普及指導員

2月5日、安芸市で県域高知ナス部会が現地検討会及び勉強会を開催し、県内の生産者29人、関係機関等44人が参加しました。

農業改良普及課は、令和7園芸年度までに安芸地区で取り組んできた単為結果性品種「PCお竜」の安定生産に向けた整枝方法の検討結果について報告しました。

現地検討会では、「PCお竜」や「土佐鷹」の栽培ほ場を視察し、春先以降の施肥管理や葉面散布の実施時期、蒸散量に基づくかん水管理等について、生産者間で活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後もJ A等の関係機関と連携し、「PCお竜」の安定生産技術の確立をはじめとした高知ナスの生産振興に向けた取組を支援していきます。

理想の樹形を目指して ～ユズ剪定講習会～



剪定を実演する  
普及指導員

2月9日、北川村でJ A高知県安芸地区柚子部が剪定講習会を開催し、北川支部の部員55人が参加しました。

農業改良普及課は、理想の樹形や不要な枝について説明した後、剪定を実演しました。

参加者からは、樹高を下げる場合の切る位置や剪定する枝に関する質問があり、参加者同士でも活発に意見交換が行われました。

農業改良普及課は、J Aの各支部においても同様の剪定講習会に参加し、剪定を通して理想の樹形に近づけてもらうことで、ユズの安定した収量の確保に向けて支援していきます。